

# 第51回 オープンセミナー

WEB  
開催

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、研究開発を通して創出した新技術を地域企業の皆様方に活用して頂くことや、原子力分野へ幅広く参入して頂くために、機構の技術などを紹介する取り組みを行っています。今回のセミナーは国立大学法人福井大学産学官連携本部との共催で開催します。なお、今回はWebにて開催します。

## 視聴期間

2022年 **11月21日** (月) ▶ **12月4日** (日)

## 視聴方法

期間中に、下記特設ページにアクセスしてください。 ※事前申込み不要

### ■ 第51回オープンセミナー

URL : <https://51th.openseminar.jp/>



ホームページ (<https://soudan.jaea.go.jp/>) から、アクセスできます。

## セミナー内容

### もんじゅサイトの新試験研究炉 ～現状と福井大の役割～

福井大学附属国際原子力工学研究所  
所長・教授 宇埜 正美

福井大学では令和2年度より JAEA、京都大学と連携して文部科学省の受託事業「もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉の概念設計及び運営の在り方検討」を行っています。

ここでの福井大学の目的は地元との連携構築であり、そのために福井県とも連携して地元企業のニーズ調査やトライアルユースなどの連携方法の検討、学内を中心とした医学応用や材料分析などの分野の人材育成を行っています。

本報告ではここまでの本事業の進捗と福井大の取組を紹介します。

### JRR-3 の多彩な中性子利用と 産業利用事例

日本原子力研究開発機構  
JAEA イノベーションハブ 技術主席  
(兼) オープンイノベーション推進課  
課長 松江 秀明

中性子は物質を簡単に透過し、非破壊で内部のミクロ構造を観察することができる優れたプローブです。中性子は普段は原子核の中に潜んでいます。研究炉は原子核の中に潜んでいる中性子を取り出し、中性子を用いた研究等に利用するものです。本講演では、茨城県東海村の原子力機構原子力科学研究所にある研究炉 JRR-3 の紹介、JRR-3 に設置された実験装置を用いたコンクリートの水の分布の観察や多元素非破壊分析による産地同定など多彩な中性子利用、そして、実際の産業応用事例等について、紹介します。

お問い合わせ

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

高速炉・新型炉研究開発部門 敦賀総合研究開発センター 拠点化推進室 成果普及促進グループ



0770-21-5033



thq\_soudan@jaea.go.jp